



■発行元■

南国市大桶甲 1479-3  
医療法人つくし会 南国病院  
TEL 088-864-3137  
<http://www.nankoku-hp.or.jp>

## 新年度を迎えて

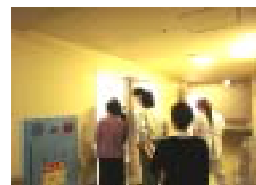
病院長 中澤 宏之

新しい年度を迎え、職員の皆様も新たな気持ちを持って各部署で勤務されていることと思います。また、新たに採用になった職員の方々におきましては、当院の理念・方針を理解して頂き、質の高い医療が提供できる様、共に頑張っていきましょう。

未曾有の大災害となった東日本大震災は、日本全国から支援の輪が広がっていますが、被災された関係者がいらっしゃる職員を含め、心よりお見舞い申し上げます。今後の災害対策に関しては、行政だけでなく病院としても独自の対策を迫られ、重症の入院患者の多い当院としては大きな課題となります。皆で知恵を出し合って、しっかりとした当院の災害対策を作り上げることができる様、ご協力をお願いいたします。

さて、2月22日からの3日間で医療機能評価の受審が無事終わりました。1年以上かけて準備を行ってきたわけですが、初めての受審にもかかわらず、全て院内の職員の努力で成し遂げたことに、改めて敬意を表し、お礼を申し上げたいと思います。いくつかの指摘事項はあったものの、各部署の取り組みは一定の評価をして頂きました。当院にとって大きな節目となり、確実に質の改善につながったと確信しております。また、中間結果の報告を頂いた段階ですが、指摘事項や課題を確実に修正して最終の審判を仰ぎたいと思いますので、もう少しの間、引き続き皆さん方のご協力をよろしくお願いいたします。

平成23年度も各部署から年間の事業計画を掲げて頂きました。各病棟・外来運営の活性化、難病病棟の医療・看護・介護体制の再検討、精神科医療の活性化と地域社会との連携、在宅医療の推進、当院独自の職能評価・面接制度の改良、専門職の補充と人材育成、教育・研修体制の更なる強化などを柱とし、目標達成に向けて皆さんと邁進していきたいと思っております。職員の皆さんのこの1年間のご活躍を期待しております。



## 組織人としての倫理

看護部長 佐光真由美



平成23年1月17日(月)に、高知大学教育研究部医療学系看護学部門教授・高橋永子先生をお招きし、「組織人としての倫理」と題し全職員対象にした研修会が開かれました。学術研修会としては、過去最高である91名の参加を得ることが出来ました。

アンケート結果からは、「基本に立ち戻り考えることができました」「看護実践では倫理的配慮が様々な場面で不可欠である事に改めて気付かされました」「倫理とは、今まで難しく感じてたこともありましたが、看護そのものが倫理と言われ身近に感じる事ができ、又より一層自分が提供している看護を振り返る必要があると思いました」「患者さんのためにという言葉が印象的でした」「とても優しい気持ちになりました」「患者中心の医療は頭の中では解っていないながら、実践となると大変であると改めて考えさせられました」「倫理について再認識でき、今後に繋げて行きたいです」「看護職ではないが、小さな気付き

がありました」等・・・多くの意見、感想が寄せられました。

今回の講義を傾聴し、改めて患者さんを中心とした、チーム医療を進めて行く為に、一人一人が「倫理の原則」を理解し、どうあるべきかを考え、又倫理の原則を考えられなかったとしても“あれでよかったのか”と常に振り返りが出来ること。“倫理的問題が潜んでいることに気付くこと”等多くの大切なことを再認識させて頂いたとても有意義な研修会でした。

今後も定期的に研修会を開催し、倫理実践を育む環境を整え“考えるだけでなく、行動出来る”職場風土の構築を目指して行きたいと思っております。

# ペットボトルのキャップ回収報告

平成 22 年 2 月より「資源の有効活用」「CO<sub>2</sub>削減」「世界の子どもたちにワクチンを贈る」の意識を職員が理解し深めるよう、ペットボトルのキャップ回収を病院全体で取り組んで来ました。

売店の協力もあり、累計 18,760 個回収できました。ポリオワクチン1人分にすると 23.5 人の子どもの命が救えたこととなります。

平成 23 年度も継続して、「ペットボトルのキャップ回収」に取り組みたいです。今後の目標は、日常生活を送る上で発生する廃棄物をただ捨てるのではなく、リサイクル可能な資源をもっと大切にすることを考えていろいろな取り組みを行って行きたい。

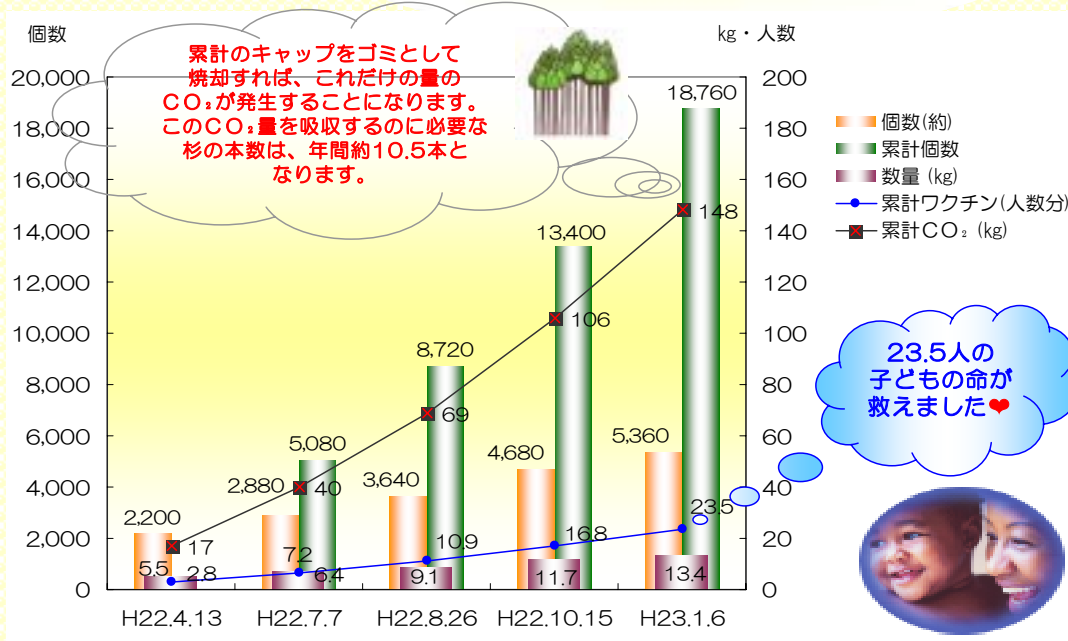
本年度は、「プルタブの回収」も同時に進めて行きたい。

エネルギー・CO<sub>2</sub>対策委員会



## 「資源のリサイクルへの配慮」

800個でポリオワクチン1人が購入でき、  
ゴミとして焼却処分された場合  
キャップ 1 kg (400個) で 3.15kg の  
CO<sub>2</sub>の発生を抑える事ができます。



## リハビリテーション部の制服が変わりました



この4月から制服が変わり、患者様からは、「やさしい雰囲気になったね。」と言われます。

この言葉通りやさしさを忘れずに、スタッフ一同が業務にあたりたいと思っています。

理学療法室  
作業療法室  
言語聴覚療法室



4月より新しいユニフォームになり、利用者様より「可愛いですね」

「まるで花が(・・)嬉(ザクラ?)咲いたよう」と言われ、すっかりその気になっているスタッフです。藤川さんという頼もしい男性職員も加わりスタッフ8名、気分一新し利用者へのサービスに努めます。

通所リハビリテーション室

手工芸

バザー

絵画・書

出店  
お好み焼き  
たこ焼

# 南国病院「つくし祭」

平成23年4月16日(土)

南国病院本館  
玄関ホール・駐車場

「つくし祭」と名称を変更して2回目の作品展が無事終了しました。

今年度は、3月11日に発生した東日本大震災により開催が危ぶまれましたが、何とか開催することが出来ました。今回のつくし祭は病棟の患者様からつくし祭の売り上げを義援金にしてはどうかとの提案があり、患者様の意見を取り入れ売り上げの全額を義援金にさせていただきました。

毎年好評のバザーでは、沢山の皆様に来ていただき、大盛況でした。また、入院中の患者様や外来患者様にも喜んでいただくことが出来ました。

出店の方は、病棟からお好み焼き、デイケアから焼きそばとフランクフルト、栄養部よりたこ焼きと焼き物のメニューばかりではありましたが、全て完売となり、来年度は今年度より沢山の数を用意しなくてはと考えております。当院出店以外にも、昨年から参加していただいている「風車の丘あけぼの」さんにも来ていただき、ケーキやお菓子、コーヒーなどを提供していただきました。そしてケーキやクッキーは完売となっていました。

作品展は、精神科病棟、デイケアだけでなく一般病棟、リハビリ、通所リハビリからも作品を展示していただきいつもより賑やかな作品展示となり、来年度も沢山の部署や患者様の作品が展示できるようになればと考えています。

大盛況で終わった作品展での売り上げは、94,568円という金額でした。この売り上げは、高知新聞社を通じ被災地に全額送らせていただきました。このような金額になりましたのも来て頂いた方々のおかげであると考えています。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

来年度のつくし祭も今年度のように大盛況で終われるよう、今後も努力していきたいと考えています。

つくし祭実行委員会 作業療法士 今城



東日本大震災により被災された皆様に、  
心よりお見舞い申し上げます。

未曾有の被害をもたらせた東日本大震災。多くの職員から「人事とは思えない。」という、支援の声が自然と上がり、平成23年4月1日(金)高知新聞社会福祉事業団を通じ「南国病院100万円」「南国病院職員25万円」を東日本大震災災害義援金として寄付させていただきました。又平成23年4月16日(土)に開催された「南国病院 第2回つくし祭」での収益金の全て94,568円についても、上記を通じ寄付をさせていただきました。ご協力下さった皆様に感謝しつつ、一日も早い復興を心から祈っています。

### 病院の理念

1. 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。
2. 信頼関係に基づき暖かい医療を提供します。
3. 専門性を追求し自己研鑽に努めます。

### 基本方針

1. 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。
2. 本院は、脳と神経及び精神の疾病や障害を主な診療対象として、その神経学的、精神医学的診断、治療と臨床的研究に努めます。
3. 個々の患者とその家族への十分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。
4. 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で暖かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。
5. 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上に努め、病める人々への奉仕者としての自覚を持ちます。

平成 22 年 4 月 1 日改訂

当院は患者さんの信頼に基づく適切な医療を行うために患者さんの基本的な権利を尊重します。

### 患者さんの権利

1. 患者さんが適切な医療を平等に受ける権利  
患者さんは差別されることなく平等に、当院で達成可能な医療を受ける権利があります。
2. 患者さんの人格、価値観が常に尊重される権利  
患者さんはひとり人間として、その人格、価値観などが尊重されます。
3. 患者さんが医師等から十分な説明を受け、自らの意志で医療行為を選択・決定する権利  
患者さんは、医療の内容、治療・検査などの効果・危険性、他の治療法などについて説明を受け、医療の内容を十分理解し、同意した上で、適切な医療を選択し、受ける権利があります。同意できない場合は、医療を受けることを拒否することもできます。また、主治医だけの意見ではなく、第三者である医師の意見も聞いて判断したいと思われる場合には、自由にセカンドオピニオンを求める権利があります。
4. 患者さんがご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利  
患者さんは、当院で行われたご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
5. 患者さんの個人情報、プライバシーが保障される権利  
患者さんは、病院内での生活を、可能な限り、他人に侵害されない権利があります。また、医療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳守され、患者さんの承諾なしには開示されない権利があります。

### 患者さんへのお願い

患者さんには、私たちが、安全かつ適切な医療の提供を行うために、次のことをお願いいたします。

1. ご自身の体調に関する情報を正しくお伝え下さい。
2. 医療に関するご希望を率直にお伝え下さい。
3. 検査や治療などの医療行為は十分なご理解と合意の上でお受け下さい。
4. 療養上必要な制約を受けることをご理解下さい。
5. 他の患者さんの治療や職員の業務に支障をきたさないようご協力下さい。

## 診療のご案内

診療科目	神経内科 精神科 消化器内科 内科 リハビリテーション科 放射線科
診療時間	月～金 午前 8:30～12:30 午後 1:30～5:00 土 午前 8:30～12:30
休日診療	なし 但し急患は診療いたします
面会時間	午前 9:00 ～ 午後 9:00
予約診療	全ての診療科において予約診療を行っております
救急指定	なし
健康診断・人間ドック	あり 脳神経検診、消化器検診

5月10日からの診療予定

			月	火	水	木	金	土
午前	神経内科	1 診	吉村	院長	吉村	齋藤	院長	院長
	精神科	2 診	玉元	森田	玉元	玉元		森田
	消化器内科 内科	3 診	川村	川村	川村	川村	川村	川村 ※1
午後	神経内科	1 診				吉村		
	精神科	2 診	森田	玉元			森田	
	消化器内科 内科	3 診	川村 ※2	麻植 (淳)		麻植 (淳)	麻植 (啓)	

- ※1. 川村医師の土曜日の診療は第2、第4土曜日のみです。  
 ※2. 診療時間は 15:00～17:00 までです。

### 平成 22 年度

外来患者数	24,686 名
(内 新 患 数)	1,197 名
1日平均入院患者数	150.8 名
精神科デイケア利用者総数	5,338 名
通所リハビリテーション利用者総数	3,439 名
訪問看護ステーションおおよそ訪問件数	1,592 件

#### ■認定・指定

日本神経学会教育関連施設  
 日本静脈経腸栄養学会  
 NST 稼動施設  
 高知県神経難病医療  
 ネットワーク基幹協力病院

#### ■病床数

病床数 162 床  
 特殊疾患病棟 (I) 46 床  
 医療療養病棟 56 床  
 精神療養病棟 60 床

